

中野ひろゆき通信

Email: hiroyukimail206@gmail.com

印刷：2014年 1月 (Vol. 4)

発行者： 旭川市議会議員
中野ひろゆき事務所
旭川市東光19条5丁目3-16
TEL/FAX 0166-33-7558



◆ 全ての議会で一般質問に立ちました！ ◆

代表的な質問としては・・・

第3回定例議会では、日本社会において重要課題となっている「高齢化と認知症の課題について」、旭川市の見解と今後の対応策などについて質問をしました。また、第4回定例議会では、「教育行政について」などの質問と課題等を指摘しました。

全力で議会質問に取り組んでいます！



★私の議会質問(平成25年度)

【第3回定例議会において】

◎高齢化と認知症について

「質問」 旭川市の高齢者数と、要介護認定者数及び認知症有病者数についての現状と、それらの数値の今後の見通しについてお示ください。

「答え」 旭川市の高齢者人口は、H25年3月末現在で96,493人となっており、人口に対する高齢化率は27.6%となっております。その内、要介護認定者数については、18,774人となっており、高齢者人口の19.5%を占めております。また、認知症高齢者の正確な人数については把握しておりませんが、厚生労働省が採用している高齢者人口に対する認知症高齢者数の割合が約1割とされておりますことから、およそ1万人が認知症高齢者であると推測しており、これらの数値はいずれも増加を続けており、平成37年には高齢化率は37.7%認知症高齢者は1万5000人あまりに達すると推測しております。(と、答弁を引き出すことができました。)

中略・・・

「質問」 旭川市に於いても、介護給付費の増加を抑制する事も緊急の課題となっているいま、他都市の事例を参考にしながら、具体的な施策を打ち出し、「介護及び認知症予防に取り組むまちづくりを積極的に進める必要がある」と思いますが、見解をお聞かせください。

「答え」 認知症高齢者が増えてきている状況を踏まえ、各自治体とも介護や認知症予防対策を喫緊の課題と位置付け、様々な取り組みをしているものと承知しております。現在、本市では脳の機能を維持、向上させる学習及び、参加者同士の交流を図ることを目的として、「認知症予防教室」を実施しておりますが、こうした予防事業の拡充に努めながら、ご指摘の他都市の事例を調査研究し、より具体的な効果が発揮できる「新たな事業構築」の検討に取り組んで参りたいと考えております。(前向きな答弁を得ることができました。)

◎ また、第4回定例議会、「教育行政について」の質問では、文科省の「全国学力・学習状況調査」(学力テスト)の結果を踏まえ、市教育委員会に対し何点かの指摘をしました。

この度の「学力テスト」の結果では、昨年に続き全国の平均正答率でみると、北海道は下位となり47都道府県中、小学校の「算数B」で47位。中学校の「数学B」で42位となっており、義務教育である小中学校の児童生徒の学力に大きな課題を残す結果となりました。

一方で、11月に視察に訪れた釧路市では、「子供たちの基礎学力の向上は、子供たちの、将来の夢をかなえるためにも、地域社会の発展のためにも重要な課題だ」という認識を示しており、重要な取り組み課題とされておりました。

***今後も旭川市の「こども達」の為に、調査研究を深めて参ります！**



(裏面もご覧ください。)